

子どもも大人も願いがある 大切にしたい「共主体」



おままごとが大好きなちゅうりっぷ組(2歳児クラス)の子どもたち。この日はご飯だけでなく、ままごとコーナーのレイアウトにもこだわって遊ぶ姿が見られました。



おままごとの素材箱まで使ってままごとコーナーの周りに壁を作ろうとするAちゃん。「ここが玄関！」と教えてくれました。いつものコーナーの中から少し飛び出してコーナーの外へ！この姿大切にしたい！！この後も残してあげたい！そう思った保育者。Aちゃんに提案してみます。「ままごとの素材箱使っちゃうとお片付けできなくなっちゃうから、このブロックだけで作ってみるのはどう？」



少し考えAちゃん、納得してくれました。Hちゃんも一緒にブロックを運びます。そんな姿を見ていた周りの友達。「僕もやる！」と一緒に高く積み出しました。後から参加している子たちはこれが玄関だとは知りません。だけど、AちゃんもRちゃんもなんだか嬉しそう。みんなで高く積むとあっという間に立派な玄関の完成です！

最後は「ピンポン！」とAちゃんRちゃんが玄関の柱を押し、ままごとコーナーに入って遊ぶ姿が見られました。



「子どものやりたい」と「大人の願い」お互いに話をしながら、折り合いをつけ遊びが深まっていく。そういった、どちらが上とも取れない横並びの関係性の中にある生活をこれからも大切にしていきたいと心から思いました。